



農業士会だより

No.124



会長退任挨拶

巻ブロック 永塚 崇嗣



まずは第47回通常総会において、新型コロナウイルスの対策として代議員・出席者の縮小にご理解とご協力を頂きまして、ありがとうございます。同日に退会される先輩方を盛大に送る事となっていたわけですが、縮小せざるを得ないという事・懇親会ができなかった事はとても残念な総会となりました。この穴埋めとして、令和元年度の退会者に対し次年度のイベントにご招待したいという事で総会に通りまして、この総会において会長を退任しました。任期2年という中で、多くのイベントと多くの出会い、何よりも多くの経験ができました。役員から様々な企画がある中、各ブロックの会長や理事をはじめ、会員皆さんのご理解・ご協力のおかげで、充実したイベントとなりました。農業関係機関・各団体の皆様からもご支援・ご協力を頂きまして、大変ありがたうございました。全ての皆様に心から御礼申し上げます。年号が令和となり新しい時代の幕開けと思い、農業士会でも様々な変化を付け加えていきました。

メーカーによる情報交換会を「農業士EXPO」と題し、六次産業やAPARレルも含めた内容にしました。異業種交流・収穫祭ではなかなか揃えられない新潟で活躍しているスペシャルゲストを4名お呼びすることができ、様々な交流ができました。

新認定者歓迎会は新しい会員を13名迎えることができ、懇親会では歌手をお呼びして一風変わったアトラクションで会場をわかせた事が記憶に残り過ぎています。

その他にも様々なイベントや交流会を行ってきました。どれを取っても色々な顔ぶれがあり、とても楽しめた日でした。参加してくださった皆さんありがとうございました。

2年間一緒に県役員を頑張ってくれた皆さん、ありがとうございます。そして、農林公社の和田さん・経営普及課の千野さんが人事異動されるという事で、様々な面でご協力・ご指導頂きましてありがとうございました。

新型コロナウイルスの影響で東京オリンピックが来年に延期される事をはじめ、様々なイベントが延期・中止・自粛される事態となっています。農業士会でも年間行事を予定していますが、今まで通りに行かず臨機応変の対応が必要になってくるでしょう。まずは新役員の中で話が進められていきますが、現状と動向に注視し状況に応じた時期やイベント内容を行えればと思います。会員の皆さんから協力を得つつ、充実したイベントとしていきたいと思います。

農業士会の益々の発展と、皆さんの健康とご多幸を祈願して、ご挨拶とさせていただきます。

会長就任挨拶

長岡ブロック 伊藤 一郎

この度、新会長を仰せつかりました、長岡の伊藤一郎と申します。
「誰だ?こいつ。」と思っている方も大勢いらっしゃると思います。

それもそのはず。私は4日クラブにも所属経験も無く、農家とは関係の無い一般企業から就農した者です。また、農家としての規模も決して大きい訳ではなく、農業界に何かを残して来たわけでもありません。なので、会長の声がかかった時は「荷が重い」と何度も断りました。しかし、その『荷の重さ』は、私の強みでもあり、偉ぶることなく、なんのしがらみの無い、第三者的な目線での思い切った判断が出来るのではないかと思ひ決断しました。

新潟の農業が冷え込んで来ている今、かつての農業大国になる為の起爆剤となるのは、間違いなく我々若手農家です。私たち青年農業士は、県知事の認定を受け、各市町村から大きな期待を受けて活動している訳ですから、その期待を裏切る事は出来ません。また、農業士になりたくても、県の規定でなれない人も沢山います。青年農業士になれた事に誇りを持ち、新潟県の農業に明るい未来を残すのだと、みんなが胸を張って言えるような会にしていく事が私の使命だと思います。

新型コロナウイルスの影響で、新役員はじめ、会員の皆様にも色々と不便をおかけしますが、今は踏ん張り所として、青年農業士は一丸となって、絶対に崩れてはいけない第一次産業である農業で人々を支えて、この局面を乗り越えていきましょう。



令和2年度新潟県農業士会
役員・ブロック長名簿

役 職	ブロック	氏 名
会 長	長 岡	伊 藤 一 郎
副 会 長	新 潟	加 藤 喜一郎
副 会 長	燕三条	山 寄 哲 志
事 務 局 長	上 越	梅 澤 和 久
会 計	南魚沼	荒 川 治 美
作 物 部 会 長	新発田	川 瀬 雄 介
作物副部会長	村 上	遠 山 利 幸
園 芸 部 会 長	巻	伊 丹 浩 大
園芸副部会長	新 津	瀬 倉 祥
畜 産 部 会 長	十日町	澤 口 晋
監 事	巻	永 塚 崇 嗣
監 事	新発田	大 倉 翼
理 事	村 上	石 栗 勝 義
理 事	新発田	嶋 津 雄 一
理 事	新発田	佐 藤 一 希
理 事	新 潟	加 藤 喜一郎
理 事	新 潟	笠 原 秀 夫
理 事	巻	鈴 木 暁 雄
理 事	新 津	酒 井 彦 卓
理 事	燕三条	山 寄 哲 志
理 事	長 岡	伊 藤 一 郎
理 事	長 岡	岩 渕 高 雄
理 事	柏 崎	杵 渕 隆 則
理 事	魚 沼	武 藤 結 翔
理 事	南魚沼	荒 川 治 美
理 事	十日町	綱 大 介
理 事	上 越	梅 澤 和 久
理 事	佐 渡	土 屋 智 徳

令和元年度青年農業士・指導農業士・農村地域生活アドバイザー 「認定式」 知事励ましの言葉(副知事代読)

本日、青年農業士・指導農業士・農村地域生活アドバイザーに認定された皆様に祝いを申し上げます。

皆様には日ごろから本県農業の振興と発展に御協力をいただき、感謝を申し上げます。

さて、県では、「住んでよし、訪れてよしの新潟県」を基本理念とし、県民の皆様が新潟に住んでいることを誇りに思い、これからも住み続けたいと思える新潟県、そして、国内外の方々が新潟に魅力を感じ、訪ねてきていただける新潟県を目指しております。

本県には、美しい自然、豊かな食文化、特色ある産業など、たくさんさんの宝があります。これらの宝を、新潟と聞

けば、質の高いもの、心豊かになるもの、そういうものをイメージできる「新潟ブランド」として位置付けて、世の中に出していきたいと考えております。

そういった思いから、農業においては、新潟が誇るコシヒカリや新之助などの新潟米、越後姫やルレクチュエ、枝豆などの園芸作物、にいがた和牛などの畜産物等のブランド力をさらに高め、産地間競争に打ち勝つことのできる付加価値の高い農業を実現すべく、施策を推進しているところです。

また、県では、農業を成長産業とし、儲かる農業を実現するため、本県の強みである米に加え、園芸導入により経

営の幅を広げるとともに、県内や首都圏、海外も含めた県産農産物の販売拡大などにより、担い手が将来展望を持つて経営できる農業の実現に向けて取り組んでおります。

本日認定された皆様におかれましては、まさにそれらを体現する農業者として地域のリーダーとなり本県農業を先導くださることを御期待申し上げます。

結びに、皆様方のますますの御健勝と御活躍を祈念いたしまして、挨拶いたします。

令和2年1月21日
新潟県知事 花角 英世(代読)

新認定者歓迎会に参加して

魚沼ブロック

新潟県青年農業士理事

八木慎太郎

昭和、平成、そして令和。50年に迫る歴史を重ようとしていく本会に、13人の新たな仲間が加わりました。

この度理事として運営側に携わり、会長を筆頭に役員が一丸となって新認定者を歓迎しようとする気持ちを肌で感じました。園芸部会長、副部会長の軽快なパワーポイントとトークから始まった第一部。全員参加で盛り上がったお見合い回転寿司は、新認定者と現会員の距離を一瞬で縮めてくれました。

会場の雰囲気が大いに温まってから始まった懇親会では、サプライズ登場した豪華ゲストと、体を張った会長、

副会長の掛け合いで会場は大きな笑い声に包まれていました。

同じ時代のこの地に生まれ、同じ農の道を志した仲間達。私が歓迎して頂いてから早7年が経ちましたが、若さを武器に熱い気持ちで活動する仲間達と触れ合う度に、大きな刺激をもらっています。

令和最初の認定者を迎え、新たなシーズンが始まりました。農業士会一丸となって新潟県農業を盛り上げていきましょう。

新認定者の抱負

長岡ブロック

三上 恵介

青年農業士に認定された、(有)ホーピン中沢の三上恵介です。就農したのが約10年前、資格も知識もなく、非農家からスタートしました。

私の青年農業士としての抱負は、「つながり、経験、知識」を手にいれる事です。

そして青年農業士になろうと思ってきたきっかけは、会社での自分の立場と社長や先輩方そして普及所の推薦でした。

地元でも同業者との交流があり、そういう場にでると自分にとって刺激になる事が多くあります。社内でも経営に関わっていかなければいけない立場

ですし、法人ではありますが従業員の半分は身内で構成されています。

私の中で青年農業士とは、「道草をくう」事だと思っています。仕事でも私生活でも、目的に向かう道中には、思いがけない大事な事があると思います。ですので同世代で、同じ立場のメンバーが多い青年農業士になることを決意しました。

私は、青年農業士としても、社会人としても、まだまだ未熟です。多々迷惑をかける事があるとおもいますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

令和元年度農業士会 新加入者名簿

NO.	ブロック	市町村	氏 名	部会
1	新発田	阿賀野市	おん だ ひろ き 音 田 寛 貴	園芸
2	新発田	胎内市	い とう ゆう た 伊 藤 祐 太	作物
3	新発田	聖籠町	こ ばやし よう へい 小 林 洋 平	園芸
4	新潟	新潟市南区	たか はし けん たろう 高 橋 健 太朗	作物
5	新津	五泉市	は 羽 が のぶ たか 羽 賀 信 孝	園芸
6	長岡	柏崎市	み かみ い けい すけ 三 上 恵 介	作物
7	長岡	長岡市	はし ば ひで のり 橋 場 英 範	作物
8	魚沼	魚沼市	すず き まさ と 鈴 木 雅 人	園芸
9	南魚沼	南魚沼市	あお き たく や 青 木 拓 也	作物
10	南魚沼	南魚沼市	お ぎ お ち め 小 澤 宙 幸	作物
11	南魚沼	南魚沼市	くわ ばら こう た 桑 原 宏 太	作物
12	南魚沼	南魚沼市	たか はし ひで と 高 橋 英 人	作物
13	上越	上越市	まつ の ち え 松 野 千 恵	作物



専門部会活動

農業士EXPO2019

園芸部会長 本田 充

専門部会では、令和元年度活動として7月2日にアオーレ長岡にて「農業士EXPO2019」を開催いたしました。

昨今、農業を取り巻く環境は日々変化しております。農業者もその変化に柔軟に対応することが求められる時代です。

「肥料・農薬、農業機械だけが農業ではないはず！」と考え、様々

令和元年度異業種

交流会に参加して

燕三条ブロック

飯塚 英晃

先日行われた新潟県の異業種交流会に燕三条ブロック長として参加させていただきました。

正直、開催されてからこの文章を依頼されるに至るまでに数か月の時間が流れておりましたので断片的にしか覚えておりませんが、捉え方を変えれば記憶に残っている部分はそれだけ印象深かったということでしょう。

まずは入場時に出欠確認を取っていた後、何やら女性の名前が書いてあるクジを引かされてそのクジに書いてあった名前の有名人の方と同じブロックでお話ができるという企画でした。

女性はタレントの相沢まさき

な切り口から情報を取得、また交換できる場を設けようと多様なジャンルの企業を参集し、計66社の団体・企業に参加していただきました。パシッと名前も変えてしまいました。

肥料・農薬メーカーはもちろんですが、6次産業化関連企業、農業資材メーカー、ICT・省力化関連企業、アパレル、学校等のコナリーを新しく設けました。また試食や試着など五感をフルに使って情報を収集できるような場を作るよう心掛けました。

ん、モデルの今井美穂さん、アナウンサーの伊勢みずほさんと同じくアナウンサーの新海史子さんの四人がいらつしゃってくださいました。どの方もお綺麗でしたが、個人的に新海アナウンサーは人気があったようです。

最初のテーブルは相沢まさきさんとご一緒させていただきましたが、自分の年代的にワンダフルという深夜番組で大活躍されていた印象でした。若くとても活発でイケイケな印象はありましたが経歴やマラソン完走の話などを聞くと見た目以上の下根性の持ち主ということが分かりました。話題が家庭の話になるとお母さんの顔になり妻目線での育児アドバイスや思いや夫婦仲などをお話しされていたと思います。最後に一緒に写真撮っていたかなした。

次のテーブルは伊勢みずほさん

講演会では農研機構 安全技術革新工学研究センター 安全技術ユニット長の積栄様より「農業経営を支える農作業安全対策とは」のご講演をいただきました。基本的なことですが、身近な作業に潜む危険とその対策を再度認識できたのではないのでしょうか。

終わりに、今回の専門部会イベントを開催するにあたりご協力、またご参加いただきました皆様に改めて御礼を申し上げます。ありがとうございます！

でした。伊勢さんからは局アナ時代の武勇伝と、自身も患われたガンに対する前向きな思い、乳ガン発覚と同時の婚姻、そして海釣りの知識と穴場ポイントを教えていただきました。伊勢さんのガン患者の方に対する支えよう寄り添おうとする姿勢は経験者としての説得力があり感銘を受けました。釣りに関しての質問にも詳しく楽しく答えていただけて、個人的にはとてもいい時間を過ごせたと思います。

その後の懇親会には参加できなかったのですが、一緒にお酒は飲ませていただくことはかないませんでした。次年度も農業士として残留させていただけることになりましたので交流会のような機会があったら積極的に参加していきたいです。スタッフの皆様、異業種交流会の設え本当にご苦勞様でした。



三士会交流会に 参加して



村上ブロッコ 石栗 勝義

9月7日、三士会交流会に参加してきました。今回は漁業士が担当で、いくとぴあ食花 食育・花育センターで行われました。

タイトルが「元「なだ万」料理長に習う、発酵和食de美味コン」という婚活イベントで、講師に、なだ万というお店で料理長を務められ、現在は故郷新潟市で「古門」というお店を開いていらつしやいます長谷川信司さんをお招きいただき、話題になっている【塩麴】を使って、県内産の魚介類や、我々農業士からも食材を提供して盛大に行われました。

稲刈時期と重なり農業士からの参加

が少なく、私を含め数名の参加でしたが、とても良い企画に参加させてもらいました。初めは各テーブルで、それから回り順番に自己紹介を行い、それから参加の士会会員・女性参加者数名グループに分かれ長谷川講師ご指導の下、調理実習が行われました。全てのメニューを作ったわけではありませんが、スズキの煮付け・南蛮えびの塩麴和えを作らせていただきました。普段は余り料理はしませんが、グループの皆さんの協力の下、時間内に出来ました。お食事タイムでもグループの女性とお話が出来る、その後の交流タイムでも自分なりに積極的に会話に参加させてもらいました。婚活自体の参加が初めてなもので、どうなるかと思いましたが、私なりに頑張らさせてもらいました。最終的に、6組カップルが誕生し、農業士からの参加者からも出来ました。今回の企画はとても良かったです。次の農業士が当番担当になった時には、このような企画もありだなと思いました。参加してとても良かったです。

P. S. 私の結果は・・・(笑)

国内外研修に 参加して

新潟ブロッコ 笠原 秀夫

令和元年11月27・28日の国内研修は、これから先私の農業士生活の中でも忘れることのない本場に有意義な時間となったことは間違いありません。

場所は大都会「東京」朝5時出発、この時はまだあんなに素敵な思いが出

できるなんて思ってもいなかった・・・東京までは貸し切りバスでの移動、車内では参加者の熱い農業に対する思いが飛び交っていました。ずっと農業の話、これが本当楽しい！！しかし、目的は東京研修。

1日目東京の赤坂見附にある東京農村では、農を通じた出会い・農に触れる喜び・東京の農が体験できるコミュニティをつくりあげていました。5階建てのビルの中には、東京の食材を堪能できるキッチンや、シェアオフィス、シェアキッチン、室内菜園があり農業が持つ魅力をいかし取り組みをされていると感じました。

そして2日目は銀座にある国立ファームの農家の台所を視察させていただきました。国立ファームでは、農産物をもつ物語に付加価値を創造し、栽培者の人柄や栽培のストーリーを大切に消費者へと繋ぐ取り組みをされていました。ただ繋ぐだけではなく生産者支援等も行っていて非常に強い生産者との繋がりが実感できました。

2日目は豊洲市場を視察しました。普段見ることのできない施設を見学、説明していただきとても貴重な経験だったと思います。もう見る事はないでしょう。

最後に、今回の国内研修に参加して改めて実感したことは「出会い」これが人生の楽しみを何倍も大きくしてくれること。色々な出会いが人を成長させ、時に新たな一面を発見できるきっかけになるのです。おそらく今回参加した農業士会員の中にも自分の新たな一面を見つけた人がいることでしょう。私は是非次年度の研修にも参加したいと思いました。

理事研修会に 参加して

新潟ブロッコ 大岩 和正

飲まない予定で挑んだ研修会。到着してすぐに妻に電話！『今日は飲みます!!!!私のそんな言葉で始まった理事・役員研修会でした。会場は、さつまいもに人生をかけた副会長、新谷さんが経営をしているお店。さつまいも農家フェスから！さつまいも愛、農業士愛を語って頂き』とても勉強になったなあ』という印象が残っています。詳細は大宴会と共に記憶の奥底に！笑。研修後、農業士の醍醐味と言っていた大宴会スタート。用意されていたビールサーバに手を掛け、みんなで乾杯。さつまいもをふんだんに使った料理のラインナップは流石でした。さつまいもの串カツ。イモカツ？串イモ？凄く美味しかったです。焼売も考案中だとか、さつまいもの可能性は無限大ですね。いっぱい食べ、いっぱい飲み、いっぱい語り、いっぱい歌い、とても熱い夜でした！本当に今回の役員、理事の皆様と活動できた事が本当に嬉しく思いますし『理事を受けて良かったな』(『いや！農業士になって良かった』)と思える時間でした。まだまだ私の農業士Lifeは続きます。自分自身がしつかり楽しみ、その楽しんでいる姿を多くの農業者に見てもらいたいです。行事に参加しないと良さが伝わりにくいのが農業士だと思います。農業の楽しさだけでなく、農業士の楽しみ方も私なりに伝えて行きたいです。これからも積極的に農業士の活動に参加し、農業士LifeをEnjoyします！

新潟県農業士会 第47回通常総会 議事録

日時 令和 2 年 3 月 4 日（水曜日）
15 時から 17 時 30 分まで
場所 新潟県映ホテル

1 総会成立宣言
代議員 48 名に対し、出席者 25 名、委任状 23 名、計 48 名。よって総会が成立すると事務局長須佐より報告。

2 会長挨拶
永塚会長より新型コロナウイルスの影響で総会の縮小に至り、その中での協力で感謝の意を述べる。皆が楽しめる会を目指した任期 2 年の集大成となる総会とするべく代議員にお願いし会長挨拶を結んだ。

3 来賓挨拶
経営普及課副参事 白崎雅人
新潟県農業士会第 47 回通常総会の開催、おめでとうございます。
農業士会の皆様におかれましては、優れた農業技術・経営力を持ち、先進的な経営を実践される一方、地域の若きリーダーとして活躍していただいていることに対し、敬意を表するとともに感謝を申し上げます。
青年農業士につきましては、1 月に開催した認定式で今年度 13 名の方が認定され、これまでの認定者数は、1565 人と数えました。これまでに以上青年農業士のネットワークを活かし、市町村の枠を超えて地域農業の振興に取り組みなど、より活動



Yugata Toci Hotel

の幅を広げていただくことを期待しております。
さて、昨年は夏の高温や大型の台風などの異常気象に数多く見舞われた 1 年でした。皆さんの中にも米づくりを始め、ご苦労された方も多いと思います。

県では気候変動に対応できる新潟米の安定生産に向けてより一層の取組強化を図っていくとともに、園芸の 1 億円産地の倍増など稼げる農業の実現に向け、挑戦する農業者や産地を支援してまいります。
皆様からは率先して、これらの取組に参加していただき、地域に広めていただくことを期待しております。

結びに、農業士会並びに皆様の一層の発展を祈念しまして、開会に当たってのお祝いの言葉とさせていただきます。

4 議長、書記、議事録署名人の選出
永塚会長より今回の新型コロナウイルス対策にあたり、対応策として規模縮小をする中で役員一任とし事務局で指名すると説明があった。事務局長須佐より次の会員をそれぞれ指名した。

議長 新 潟 県 小 柳 真 一
書記 新 潟 県 南 雲 裕 樹
議事録署名人 新 潟 県 加 藤 喜 一 郎

5 第 1 号議案
第 1 号議案として令和元年度事業報告を行った。事務局長 須佐より事業活動報告について、作物部会長 小林永塚より関係機関・団体との連携について報告した。
※総会議案書参照

第 1 号議案について議長小柳より質問・意見がないか会員へ問われなかった。ので拍手をもって原案どおり承認された。

第 2 号議案
第 2 号議案として会計 大倉より令和元年度収支決算の報告があった。冒頭に慶弔費の修正を説明した。項目、決算額、比較増減、摘要の順に報告があり、続いて特別会計収支決算について報告した。
※総会議案書参照
監査報告
監事 岡田より監査報告。
※総会議案書参照

第 3 号議案
1 令和 2 年度活動目標（案）と基本方針を会長 永塚が議案書に沿って読み上げた。
※総会議案書参照
2 令和 2 年度事業計画（案）を事務局長 須佐が議案書に沿って読み上げた。
※総会議案書参照

3 令和 2 年度一般会計予算（案）を会計 大倉が議案書に沿って読み上げた。
※総会議案書参照

ここで会長 永塚より、総会規模縮小で今年度退会者の総会の参加を制限してしまつたため、令和 2 年度の活動に退会者を招待できることとする」と対応策を報告した。
続いて、会計 大倉が令和 2 年度 特別会計収支予算（案）を議案書に沿って読み上げた。
※総会議案書参照
第 3 号議案について質問・意見がない

いか議長 小柳より会員へ問われた。
Q・十日町 B 水品より、昨年自ら触れた内容であるが、退会者が年々増えている中、今まで通りの活動を維持するには、会員の年会費を上げることも検討するべきと指摘があった。

A・会長 永塚より、現段階で収支が釣り合っているため運営は可能と認識しているが、年々収入の減少は危惧しており、次年度以降に年会費値上げまたはイベント参加費の負担を検討していきたいと回答した。

Q・十日町 B 水品より、会費を上げることがどうかの議題は、検討に時間がかかるので、次年度役員に引き継いで欲しいと発言。
A・役員会・理事会で検討すると回答。

Q・上越 B 久保田より、次年度からの変更点の事務局を育成センターから会長宅に変更の場合の予算割が変わるのではないのか、ならば対応策を先に作つたほうが良いと発言。続いて、会員数の減少を含めた収入等の問題、農家の多様化の対応、そういった問題を話し合う場を事業計画の中に作つてはどうかと発言。
A・会長 永塚より、事務局の変更に関することは 5 号議案で説明しますと回答。会員の減少に関わる事は、県、役員、理事と会員増加に向けた解決策を検討すると回答。

Q・上越 B 大滝より、① 7 月開催予定の専門部活動は昨年と同じ方向性でいくのか教えてほしい。② 三士会の日程を 3 団体が最大限に出席できるように話し合いを進めてほしい。③ 直近 2 年は異業種交流会と収穫祭を一緒にしてきたが、事業計画案では項目が分かれていて、項目を合わせてスリム化するのはどうかと提案。



- A・会長 永塚より、①専門部活動は7月上旬を予定しているが、コロナウィルス等の社会情勢を加味して日程内容については未定と回答。②三士会は昨年度担当の漁業士会にも調整を図ったが、なかなか農業士会の都合よい時期にならず申し訳ないと発言。今年度担当の林業士会に話し合いですり合わせていくと答えた。③異業種交流会と収穫祭の一本化は役員でも話し合っていた議題だったが、予算の中で大会開催費が収穫感謝祭で研修費が異業種交流会と別に組まれていたので別記載と判断した。次年度以降は、この要望を受けて理事会等で話し合い、スリム化出来たら良いと回答。
- Q・新発田B姉崎より、一般会計予算案の中で収穫祭の予算が40万円から20万円に減額されている。見解を聞かせてくださいと質問。
- A・会長 永塚より、収穫祭の今年度決算は294148円の決算で、それに基づいて出した予算。足りない場合は項目間流用等で調整していくと考えていると発言。今回決めた内容で予算が足りないところが出てきた場合などに、前に出た質問の年会費引き上げ等の話合いにつなげていくと回答。
- Q・新発田B岡田より、要望として、ブロック長、一般会員などが県の農政と話し合える場があるとありがたい。農業士役員から県へ、これからも支えになってくれるよう強くお願いしてほしい。
- A・会長 永塚より、一般会員も参加できるような県に声が届く会の実現に向けて、県に協力を求めていると発言。
- 副会長 大津より、皆の声が届くよう、しっかりと声掛けしていきたいと発言。

- 副会長 新谷より、会員皆の農業士会、一般会員から多くの声を発信していただいて農業士会の発展を望むと発言。
- 他に質問・意見がなかったため拍手をもって原案どおり承認された。
- 第4号議案
第4号議案として会計 大倉より、会費の賦課額及び徴収方法（案）が議案書に沿って説明された。
- ※総会議案書参照
納入先については、会計を決めて次年度第1回理事会で報告する。納入方法として、振り込み名称を「新潟県農業士会〇〇ブロック」から「〇〇ブロック農業士会」に変更をお願いした。どのブロックから入金があったかを一目瞭然にするためと説明した。
- 第4号議案について質問・意見がなかった議長 小柳より会員へ問われ、なかったため拍手をもって原案どおり承認された。
- 第5号議案
第5号議案として、会長 永塚より、規約の改正について（案）が議案書に沿って報告された。
- ※総会議案書参照
「青年農業者等育成センター内」に事務所を置くことが出来なくなった。県の指導の元「新潟県農業士会 会長宅」に変更すると説明した。
- 第5号議案について質問・意見がなかった議長 小柳より会員へ問われた。
- Q・十日町B水品より、事務的作業は事務局が行うことが多いので、事務局長宅に事務局を置く方が良いのではないかと発言した。
- A・会長 永塚より、会の代表の会長宅に置くことが望ましいと回答した。

- Q・上越B大滝より、事務所を変えることによって、会長宅に書類等届くのですかと質問。
- A・会長 永塚より、事務所が変わっても、いままでどおりの運営が出来るかと回答した。
- A・経営普及課 技師 千野様より補足、次年度の農林公社の役割の再編成にあたり事務局を変更したと説明。次年度以降も引き続きサポートしていくという方向性で、会長宅に事務所を置いた事もそういった背景と説明した。
- 他に質問・意見がなかったため拍手をもって原案どおり承認された。
- 第6号議案
第6号議案の役員等の改選について、事務局長 須佐より、互選会長の選任を事務局一任とし、上越ブロック久保田 喜隆を指名したと報告。別室にて互選会を行った。（約20分）互選会長 久保田より、新役員の報告。
- | | | |
|--------|-------|--------|
| 会長 | 長岡 B | 伊藤 一郎 |
| 副会長 | 新沼 B | 加藤 喜一郎 |
| 副会長 | 燕三条 B | 山崎 哲志 |
| 事務局長 | 上越 B | 梅澤 和久 |
| 会 計 | 南魚沼 B | 荒川 治美 |
| 作物部会長 | 新発田 B | 川瀬 雄介 |
| 作物部副会長 | 村上 B | 遠山 利幸 |
| 園芸部会長 | 巻 B | 伊丹 浩大 |
| 園芸部副会長 | 新津 B | 瀬倉 祥 |
| 畜産部会長 | 十日町 B | 澤口 晋 |
| 監 事 | 巻 B | 永塚 崇嗣 |
| 監 事 | 新発田 B | 大倉 翼 |
- 第6号議案について質問・意見がなかった議長 小柳より会員へ問われ、なかったため拍手をもって原案どおり承認された。
- 全ての議案において承認され、他には質問・意見もなかったため議長 小柳は解任され、議事を終了した。

野 良

十日町ブロック 大津 貴夫

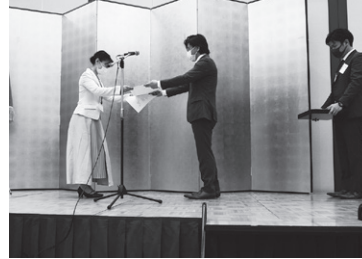
人は歩みを止めた時に
そして挑戦を諦めた時に
年老いていくのだと思いますこの道を行けばどうなるものか
危ぶむなかれ

危ぶめば道はなし

踏み出せばその一足が道となり
その一足が道になる

迷わず行けよ

行けばわかるさ



赤いタオルを首に巻いているおじさんが言っていた言葉である。人生とは、常に挑戦の連続である。大きなことから小さなことまで、この命が尽きるまで挑戦は続く。いつかたどり着く終着点で自分の道を振り返った時、少なからず笑顔でいられるためにも前を向き、自分を信じ歩いていきたい。

編 集 後 記

新潟県農業士会 副会長

新谷梨恵子

平成 30・31 年度役員が無事終わりました。永塚会長のもと、今までの事業を一新させた変革の 2 年間だったと思います。「変わることの大切さ」と「変わらないことの大切さ」を考えると共に「時代の流れ」の中で農業界にいる私たちの世代から何を発信し、「今」自分たちが何が出来たのか、を考える時間が多かった気がします。新潟県農業士会」が存在する意味はなんだろうとふと思いました。「農業」と一言でいっても、稲作、園芸、果樹、畜産と異なる経営をしている仲間が集まって、より良い農業の明るい未来を作り上げて行く、自分の地域に在るだけでは出会えなかったかもしれない仲間たちと多くの言葉を重ね、思いを共有し、次世代に繋いでいく。私たちが、「農業士会」でより成長し、魅力的な背中を見

せることが農業界の発展に大きく貢献するのではないかと思います。農業士会は会員一人ひとりの力で成り立っています。一つでも多くの事業に参加し、ここでの経験を自身のスキルアップにつなげていただけますよう心より祈っています。

「農業士会だより」を発行するにあたり、多くの皆様より執筆・写真提供などご協力いただきましたこと、心より感謝申し上げます。

また農業士 EXPO にご参加いただいた企業様、マルシェにご協力くださった新潟公務員法律専門学校の皆様、素晴らしい女性ゲスト様や、農業士の活動に関わってくださった全ての皆様、今回のご縁を今後の農業士活動の中でも続けていくことが出来れば幸いです。多くの皆様に感謝を申し上げます。編集後記とさせていただきます。ありがとうございます。

感謝状贈呈者（敬称略）

ブロック	氏 名
新 発 田	小 川 広 幸
新 潟	安 部 豊
新 潟	小 柳 真 一
新 潟	土 佐 林 友 直
新 潟	猪 俣 正 登
新 潟	永 嶋 卓
新 潟	杉 本 良 介
新 潟	田 村 長 康
新 潟	本 間 紹 雄
新 潟	高 橋 慶 彦
新 潟	近 藤 正 貴
巻	堤 慎 一
巻	杉 山 健 太 郎
巻	重 川 広 明
三 条	知 野 源 一
三 条	石 黒 貴 之
長 岡	白 井 健 太 郎
長 岡	新 谷 梨 恵 子
長 岡	丸 山 豊
長 岡	渡 邊 慎 太 郎
長 岡	竹 内 剛
長 岡	関 克 史
十 日 町	大 津 貴 夫
十 日 町	宮 澤 健 太 郎
十 日 町	河 田 太 郎
十 日 町	宮 内 隆 和
上 越	久 保 田 喜 隆
上 越	長 谷 川 力

発行所：新潟県農業士会

会長 伊藤一郎

電話 〇九〇―

二五二八―五五四五

印刷：和光印刷(株)

新潟市西区小針一―一一八

電話 〇二五―

二三三―八三三八